

あまくさ



令和3年度秋季剣道大会開催！

標記大会が10月30日（日）に本渡東小・中学校を会場に開催されました。今回は、期日が衆議院議員選挙日と重なり、会場や審判員、役員の確保が懸念されましたが、会員や各クラブの保護者、関係各位のご協力によって、無事に開催することができました。今回は、剣道人口の減少もあり、団体戦は3人制の変則リーグ戦での予選、決勝トーナメントで行いました。試合結果は下記の通りです。また、高校生の部は、部員不足の影響で開催できませんでした。以前は団体戦でしたが、参加チーム数の減少により個人戦となり、長らく個人戦が行われてきましたが、今回初めて中止となりました。剣道人口の減少をいかに食い止めるかが天草剣道連盟の最大の課題ですが、いかに高校生の部員を確保するかが急務だと思いました。関係各位の一層の努力をお願いいたします。

学年	優勝	優秀選手賞	2位	3位	3位
小学生4年以下	牛深少年剣道クラブA	口脇 叶多	河浦剣道クラブA	栖本少年剣道クラブA	楠浦剣友会A
小学生5・6年	栖本少年剣道クラブA	吉田 悠也	牛深少年剣道クラブ	天武館A	松正館A
中学生の部	本渡中学校A	松下 仁大	本渡東中学校B	本渡東中学校A	河浦中学校A

牛深少年剣道クラブA

栖本少年剣道クラブ青志会A

本渡中学校A



【コロナ禍と剣道】

新型コロナウイルスが、日本国内に広がり始めてから、早2年の月日が経過しようとしています。新型コロナウイルスはその強い感染力により、瞬く間に世界中に拡大し、日本においても、第1波～第5波と日本中に感染が広がり、日常生活が一変してしまいました。剣道競技は、大きな声を出すこと、肉体接触が多いこと、室内で行うことなど、感染リスクが高く、活動の中止を余儀なくされました。大会や審査会、講習会等も中止となり、目標がなくなり、モチベーションが下がったのは、私ばかりではなかったと思います。剣道の将来に不安を感じていましたが、感染予防の対策が講じられ、活動が徐々に再開され、やっと大会や審査会も開催されるようになりました。コロナ禍の前は、当たり前のようにできていた剣道が、実は幸せなことであり、恵まれたことだと思いました。感染予防しつつも、また剣道ができるようになりましたが、会員の皆さんには、剣道ができる幸せをかみしめ、先生や先輩、剣道仲間、教え子たち、保護者や地域の方々、家族、そして道場にも感謝の気持ちをもって、真摯に剣道修行に取り組んでいって欲しいと願っています。